

会報 ふれあい

平成27年2月1日

第181号

発行 せきがやふれあいの会

※電話相談・簡単修理は、月曜～土曜(午前)自治会館にお電話下さい(TEL784-4447)。主に高齢者向けです。
※ふれあいの会の催しに、車椅子で参加される方のお手伝いをいたします。事前に自治会館にお電話下さい。

簡単修理事例

乾電池の使用推奨期限を知っていますか？

乾電池には食品の賞味期限のようなものが存在します。「使用推奨期限」としてありますが、これは未使用の状態での保管(保存)された場合に、この期限内に使用を開始すれば電池は正常に作動し、日本工業規格(JIS)で定められた持続時間などの電池性能を満たすという意味です。使用推奨期限が過ぎた電池はすぐに使えないということではありませんが、電池は使わなくても古くなると少しずつ電圧が低下したり、電池を構成している部品の劣化などで液漏れしやすくなるので、極力この期間内に電池の使用を開始されることを推奨しているわけです。乾電池の種類や製造メーカーによっても異なりますがアルカリ乾電池の場合、3年～10年のものがあります。購入してすぐ使用開始する場合や防災用などで長期間保管する場合など目的に合った期間のものを選択するのが良いと思います。また百貨店で販売している乾電池とブランドの電池では大分値段に差がありますが、使用した感覚では値段ほどの差はないと思いました。多数がパックになった電池は安いのですがどのように保存しても使用推奨期限が過ぎると液漏れで使えなくなる恐れがあるので、使用予定がない場合にはお勧めできません。防災用に備える場合は食品と同じように期限が切れていないか点検しましょう。推奨期限の表示は見にくい場合があるのでよく確かめて購入しましょう。(坂口)



ゴミ収集 横浜市「ふれあい収集」(家庭ごみの持ち出し収集)

下記の対象者宅の敷地内や玄関先から、直接ごみを収集します。

対象者：ご家族や身近な人の協力が困難で、自ら家庭ごみを集積場所まで持ち出すことができないひとり暮らしの方。なお、同居者がいる場合でも、同居者が高齢者や年少者などで、家庭ごみを集積場所まで持ち出すことができない場合は、対象となります。

- 1. 身体障害者手帳の交付を受けている方
- 2. 愛の手帳の交付を受けている方
- 3. 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方
- 4. 介護保険の要介護(要支援)認定を受けている方
- 5. ごみを持ち出すことができない65歳以上の方

※ふれあい収集に必要な情報を確認するため、事前に対象者宅へお伺いします。

※収集時にごみが排出されていない場合等に、安否確認のため、インターホン等で声を掛けさせていただきます。

問い合わせ先：資源循環局金沢事務所 (電話 781-3375)

横浜市ゴミ出し支援

2～3月の農作業：そろそろ春に向けての準備をしておきましょう。 ※土を深く掘り起こして下層の土を表面に出す天地返しをして、酸素不足になった土をよみがえらせてやりましょう。この時消石灰を1平方メートルあたり100g程度混ぜておきます。 ※カンキョウ類の施肥は、基本的には年2回です。元肥として2月下旬から3月上旬にします。土の表面が固いと根が十分に発達せず、肥料も効きにくくなるので、土の表面を軽く掘り施肥します。



第6回「喫茶ふれあい」へのお誘い

お茶を飲みながら自由に会話の楽しめる「喫茶ふれあい」も6回目となりました。お一人でも、お友達、ご近所、サークルの仲間を誘って等どうぞお気軽にご参加ください。

日時：2月17日(火) 午後1時30分～4時(ご都合のよい時間にお越しください。)
場所：自治会館1階会議室
料金：無料(コーヒー、紅茶、お茶、お菓子を用意してお待ちしております。)
問い合わせ先：入野、池本



ちびっ子の皆さん！お元気ですか、今、日本は全国的に風邪が流行っているそうです。風邪は万病の元といえます。もしインフル等に罹ったときには、無理をして出かずに家で安静にして、体力を消耗しないのが一番とおもいます。でも、元気な人は春も一歩一歩、近づいていますので寒さに負けずにこのイベントにも是非参加なさってください。お待ちしております。(深見)

日時：2月13日(金)、27(金) 10:00～11:30 場所：自治会館 1階 (TEL784-4447)

歩く会 100回記念によせて

歩く会も100回を超えました感無量です。

20年近く前、第2の現役を引いて70歳を目前にしたとき、残り少ない人生を楽しく過ごしたい、また地域でなにがしかのお手伝いをし、有意義に過ごしたいと考えました。それには先ず家内共々、健康でなければならぬ、健康のためにはまず運動。手軽にできる運動はと言えば歩くこと。しかし歩くだけではすぐに飽きてしまうのでプラスαが必要です。幸い当時は、山あり海ありだけでなく800年の歴史を刻む「古都鎌倉と金沢」それに国の3省庁の法律で守られた「歴史・緑化・風致の各特別保存地域」という得難い歴史と環境と自然とが揃った地域です。そこで家内と二人で鎌倉の山野・古寺社・古遺跡など歩き回ると同時に20冊くらいの書籍を読んで歴史の勉強をしました。



その頃は男性のリタイア組が増え始める時代でした。そこで永福元会長からその男性たちを取り込んで自治会の活性化を図ろうという宿題をいただきました。当時、週刊誌の漫画で「男性専科」というものがあるのを思い出して「ふれあいの会」初代表代千田さん高橋さん菅目さんと共に「ふれあいの会」の中に「男性活動分科会」を立ち上げました。会の目玉は何かと言うことになり、私は吐き出しに男性の80%くらいはお酒に関心があるので、冗談に「飲み会」はどうか。しかし世の奥様方からはひんしゅくを買うだろうと。そこでアルコールの「ル」の字を削除すると、アルコール会になる即ち「歩こう会」、それを縮めて「歩く会」が発足しました。平成14年8月9日に下調べに青柳さん・千田さん・本間さんと私の4人で「鎌倉ほんぼり祭」に山伝いに鎌倉まで歩きました

記念すべき第1回は「中高年のための歩く会」というタイトルを付けて平成14年11月14日実行されました。22回頃から行く先の範囲を広げバス旅行の遠出を企画したところ大変な人気で、定員オーバーで抽選をするほどの盛況になりました。始めから数えて13年よきぞ100回まで生き延びたとの実感が正直なところ。

歩く会発起人 小西

ゆりのきお食事サービス 2月の予定【2月9日(月)、19日(木)、25日(水)】民生委員にお申込み下さい。

【1地区(3・4丁目) 戸次】 【2地区(2・5丁目) 大橋】 【3地区(6丁目) 大島】



緑道さんぽ



想いの工事(野村住宅造成工事)

昭和39年に社会人となり川崎の山奥で浄水場建設工事に従事していた梅雨期に“釜利谷”という場所の住宅地造成工事で大雨により大規模な土砂流出災害があり、見学に同行しました。現田道(文1バス路線)の赤井付近が1m位の土砂に埋まっておりました。“釜利谷”との出会いが始まったのです。

昭和42年より鎌倉～逗子の住宅造成工事に従事し夏山の造成工事現場にもよく応援にきていました。昭和47年7月にこの野村住宅造成工事に係るようになりました。当時の事業主“富士空輸”による起工式は終わっており現場は樹木の伐採、防災工事そして約400万m³の削土(岩盤を削る)、運搬、埋め戻し、転圧の作業中でした。



野村釜利谷谷地造成工事(神奈川県)

46億年前にできた地球はマグマが冷えて火成岩となり長期間で我々の居住地の地層として堆積岩となりました。地下の岩盤は俗称：土丹と呼ばれていますが砂岩(鎌倉石、砥石・・・)、頁岩(碁石、すずり・・・)泥岩(セメント・・・)、凝灰岩(大谷石・・・)が混ざり合っつけられたものです。宝永4年(1707年)の富士山の大噴火で関東ローム：俗称赤土が東へ降灰したが三浦半島は南東であるために降灰は少なく基層岩盤として“土丹”がベースになっている。岩盤の強度は“弾性波速度(m/sec)”で表示される。土丹は音が1秒間に最大±1,900mも伝わる。1,900m/sec以上になると発破(俗称：ダイナマイト)作業か破砕セメント作業となる。

大型のブルドーザーが最盛期には10台以上も投入され破砕作業を行った。国産各社と世界最大100tのブルドーザー(米国アリスチャーマー社製)と土運搬車等が稼働していました。

最近津波や海抜が話題となるが海抜とは東京湾の平均海面高さ＝標高です。海抜0メートルは近くでは宮川の“侍橋(大きな鯉が泳いでいる)の水面あたりです。住宅内の標高＝海抜は、西金沢中51.5m、郵便局・グルメ50.0m、原っぱ61.6m、当地最高：野村峠(永田勝手説)62.9m、当地最低：遊水池底17.5m。

遊水池は100年に一度の豪雨に備え計画されました。昭和48年秋の大雨で満水(5万トン)になったが昨年夏の台風時の大雨でも満水になった。これは40年程前に金沢土木事務所排水管路内の止水壁を増したため当初計画より少量の降雨でも雨水が溜まるようになったのです。

横断道路は当時南横浜バイパスとよばれており道路工事と造成工事が同時に行われていた。釜利谷西小の通か上方の山の中に戦後引揚者の女性が犬と住んでおり、山水を引きランプの生活をし、生活用品は区や警察が届けていた。工事現場では赤旗を立てることがあるが、警察からこの付近に赤旗を立てぬように注意された。警察官が山の手住宅の道路から双眼鏡で見て赤旗が掲げられていれば異常のサインであった。その後夏山第一公園南に区が用意した住居に移ったがしばらくして亡くなりました。

金沢～鎌倉線(環状4号)の相武隧道バス停(八景方面)付近には大きな豚舎があり、反対側(今の中古車販売所辺り)には深い谷間(まるで溪谷)があり10戸位の村落と小川がありました。

福島の大谷石工事を最後に戻ってきました。以降ウォーキングを兼ねて住宅内の構造物を見回っています。遊水池近辺の高い段積の大谷石石積みが好きです。目地の隙間、剥離を目視していると当時の石工の顔が思い出され大谷石の呼吸を感じます。

最後に嬉しい話“ご近所の集い”である人が『40年前に新居を求めて1年程横浜南方面で探したが・・・ここがBEST!!』 永田

円海山歩く会



2月の計画 集合場所：奥座公園 出発時間：午後1時半(雨天中止)

☆2月2日(月) ゆっくり比較的近いコースを歩きます。約1時間半

奥座～動物園裏～新迂回路～大丸山～関谷奥見晴台～奥座

☆2月20日(金) 緑地内のハイキングコースを楽しみます。約2時間半

奥座～関谷奥見晴台～いっしんどう広場～おおよと休憩所～動物園裏～奥座

コースは変更される場合もあります。

☆3月2日(月) 奥座～動物園裏～金沢自然公園散策(梅)◎～関ヶ谷

※ 履物、飲み物、雨具などは自己判断でご準備下さい。連絡先：野呂

歩く会第103回

田浦梅林・塚山公園 3月5日(木)、雨天時6日(金) 9時50分 金沢文庫駅集合

三浦 設計

梅の季節になりました。今回は田浦梅林から塚山公園に回ります。田浦梅林は約2,700本の梅と75,000株の水仙が植えられています。少し急な坂を登った後の気持ち良い広場からは眼下に梅の花と同時に東京湾、東京、千葉の眺望が楽しめます。昼食の後、江戸時代に出来た江戸と浦賀を結ぶ「東の浦賀みち」の難所十三峠を通り、途中無人の野菜販売所を覗きながら、三浦按針が祀られている塚山公園に行きます。この公園からは横須賀の港が眼下に見えます。後は下り坂を安針塚駅へ。梅と海の眺望ハイキングです。(野呂)



コース概要

金沢文庫駅◎(10:01)→ 田浦駅→(バス)田浦郵便局前→田浦梅林◎(昼食)→十三峠→塚山公園◎→安針塚駅◎→金沢文庫駅 ◎はトイレのある所です。

※歩行時間 約3時間(昼休みを含む)約5km、短いけど急坂のあるコースです

日時：3月5日(木)、雨天の場合は6日(金) ※雨天の場合、前日に連絡します。
集合：金沢文庫駅 9時50分
参加費用：参加費100円及び各自負担の交通費560円。
各自持参：弁当・飲み物・敷物・雨具など。パスモ、スイカなど。
注意事項：参加当日の健康状態は自己責任で判断してください。



参加申込みは、下記用紙に氏名・電話番号・ブロック番号を記入して切り取り自治会館の郵便受けに入れるか、下記用紙の記載事項を入れてメールしてください。
参加申込締切は 2月27日(金曜日)とします。
尚、連絡先は野呂です。



歩く会第103回(田浦梅林)に参加します。 申込日 月 日

①3月5日(木)参加 ②3月6日(金)参加 ③何れの場合でも参加

氏名 _____ ブロック _____ 電話番号 _____